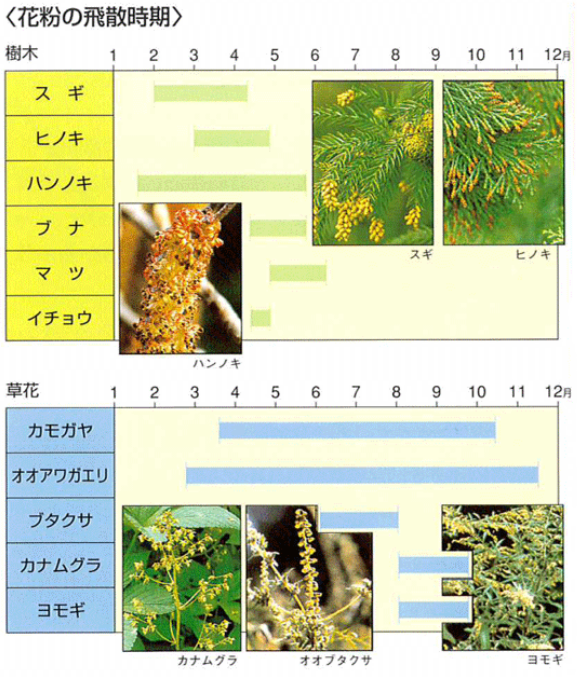
Q 3.花粉症はどうして起こるの？

A 花粉症はアレルギー反応によって起こります。その主役は花粉（アレルゲン）と抗体です。

＜免疫とアレルギー＞

ヒトは外部の異物（たとえば細菌やウイルス）や、異常な細胞（ガンの原因になることもある）が発生したときに体の中に抗体を作り、異物や異常細胞を排除す る免疫という機能をもっています。免疫は本来、生体にとってプラスの働きをするはずなのに、時と場合によってはマイナスの働きをして病気を起こし、ヒトを 苦しめます。これがアレルギーです。

抗体の 1 つである IgE 抗体は、普通のヒトにはまったく害のない花粉などに対して過敏に反応し、アレルギーを起こす悪役として有名になりました。IgE 抗体を多く作り出す体質のヒトがアトピー体質、またはアレルギー体質と呼ばれます。

＜ヒスタミンとアレルギー症状＞

まず花粉（アレルゲン）が結膜にくっつくと、IgE 抗体が作り出されます。侵入したアレルゲンと作り出された IgE 抗体とが反応してヒスタミンなどの化学 伝達物質を吐き出し、アレルギー症状を引き起こします。ヒスタミンは、結膜表面に存在する神経を刺激してかゆみを引き起こします。さらに血管に作用して血 管壁をゆるめ、血液中の水分や白血球を血管の外へ滲み出させてしまいます。滲み出した白血球によってまぶたのはれ、結膜の浮腫が生じます。アレルギー体質 のヒトは普通のヒトに比べ、ヒスタミンに対してはるかに敏感だといわれています。